

高等女学校教科書概要

1: 文書群番号	104008
2: 文書群名	高等女学校教科書
3: 出所	寺岡澄子氏
4: 家業・役職等	醤油醸造業
5: 地名	尼崎市大物町
6: 行政区分	尼崎市
7: 歴史	寺岡家は尼崎城下の大物町で近世以来醤油醸造業ほかを営んだ。寺岡澄子氏（大正5年・1916生）は昭和8年3月に尼崎市立高等女学校を卒業（尼崎市立高等女学校・尼崎市立高等学校同窓会『同窓会誌』による）、神戸女学院家政科に進学した。 尼崎市立高等女学校は明治27（1894）の尼崎尋常小学校裁縫専修科の設置に始まり、町立尼崎女子技芸学校（明治40）、町立実科高等女学校（大正2、大正5年以降は市立）への改組を経て、大正8年に市立高等女学校となり、尼崎最初の中等学校として女子教育に大きな役割を果たした。戦後は学制改革により市立尼崎高等学校へ移行。
8: 伝来	平成16年（2004）、史料館が寺岡澄子氏より借用した。平成22年10月に整理・目録作成を完了し、同月寺岡氏より寄贈された。
9: 史料入手先	寺岡澄子氏
10: 点数	7点（目録点数7件）
11: 年代	昭和2（1927）～7（1932）
12: 構造と内容	本文書群は、寺岡澄子氏が尼崎市立高等女学校の在学時（主に四～五学年）に使用した教科書である。内容は和・洋裁縫、公民、女子の生理衛生、家政・礼儀作法で、昭和2年から7年にかけて発行されている。
13: 関連史料	寺岡澄子氏文書
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	松迫寿代